

小学校特別活動

「当番活動と係活動」 第1～6学年

学校では、当番活動や係活動が毎日の生活を生き生きと輝かせてくれます。友達と関わりながら、みんなのために、よりよい学級になるようにと活動できることはかけがえのないものです。今、学校では活動できませんが、お家でもできることはないでしょうか。

そもそも、「当番活動」と「係活動」の違いはわかりますか。

「当番活動」は、生活が円滑に運営されていくために学級の仕事をみんなで分担し、担当しなければならない活動。「係活動」は、創意工夫し、生活をより主体的、自主的で豊かなものにしていく活動です。と、言われても難しいかもしれないので、次にもう少し具体的に示します。「なるほど！これなら家でもできるかも。」と思うことがあるはずですよ。

【当番活動】 → 委員会活動につながる！

<p>当番活動とは？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級に必要で誰かがやらなくてはならない仕事</li> <li>・内容、やり方が決まっている仕事</li> <li>・輪番で全員が行う仕事</li> <li>・責任をもって必ずやり遂げなくてはならない仕事</li> </ul> <p>例えば、学校では「日直」「給食当番」「掃除当番」「電気のスイッチ」「窓の開け閉め」「黒板を消す」など。</p> <p>*この当番活動を一人一役の係活動として行うこともあります。</p> <p>*この「当番活動」が、後に高学年になった時に委員会活動につながっていきます。</p>
<p>1回目</p>	<p><b>【めあて】家で、自分にもできる仕事を1つ見付けよう。</b></p> <p>○家にも、やり方が決まっていて、誰かがやらなくてはならない仕事があります。お家の人と相談して、何か一つでもいいので当番を決めましょう。学年によってできることは違うかもしれませんが、毎日必ず行えるものが良いです。この時、お家の人と話し合っって仕事分担をしたら、それは学級会の練習になります。</p> <p>*例えば、どんな当番？→「テーブルをふく」「洗濯物をたたむ」「箸を並べる」「カーテンの開け閉め」「電気を消す」「食器をふく」「植物に水やり」等、いろいろありそうです。無理なく続けられるものにします。</p>
<p>2回目～</p>	<p><b>【めあて】責任をもって「当番活動」に取り組もう。</b></p> <p>1回目に決めた仕事に、毎日責任をもって取り組みましょう。学校だと、その仕事を忘れずにしてくれたことで必ず感謝されます。それを見ていた子が必ずいて、帰りの会でみんなに伝えてくれたり、本人にお礼を言ってくれたりします。それでモチベーションが上がったりします。家でも、当番活動を認め合っって、声に出して伝えてください。</p>

## 【係活動】 → クラブ活動につながる！

「当番活動」に慣れてきたら、家でも「係活動」に挑戦してみましょう。係活動は自分でいろいろ考えて工夫もできるし、やりがいがある活動です。自主的にものごとに取り組むきっかけになると思います。

<p>係活動とは？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を通して仲間を作り、学級の活気を作ります。</li> <li>・楽しくて、学級の役に立つ仕事。奉仕活動ではありません。</li> <li>・工夫の余地がある仕事。</li> <li>・複数で行う。(家では一人でも OK)</li> </ul>
	<p>例えば、学校では「おめでとう係」「イベント係」「新聞係」「飾り付け係」「お笑い係」「いきもの係」などなど。</p> <p>*入門期の1年生は、まず一人一役の当番活動を係活動として行い、徐々に本来の係活動につなげていくこともあります。</p> <p>*この「係活動」が、後に高学年になった時にクラブ活動につながっていきます。</p>
<p>1回目</p>	<p><b>【めあて】 お家の人を楽しませる係活動を考えよう。</b></p> <p>○係活動は、当番活動と違って、決まったやり方があるわけでも、絶対やらなくてはいけないというわけでもありません。係活動は周囲の活気を作り、生き生きさせることができます。自分でやり方を工夫したり、相談してやり方を変えたりして、自主的な取組ができます。係活動によって、家族が楽しんでくれたら、それだけでやりがいを感じ、もっともっと工夫するかもしれません。うまくいかなかったら、「どうしてそうなったんだろう？」と振り返り、またやり方を考えたり周囲にアドバイスを求めたりします。この時もお家の人と話をすると、学級活動の練習になります。コミュニケーション力や人間関係は家庭でも学ぶことができます。</p> <p>*例えば、どんな係？ → 「おめでとう係」「食後のお楽しみ係」「本の読み聞かせ係」「いきものの紹介係」「家族の新聞係」「かざりつけ係」「献立しようかい係」「お笑い係」「おふろを楽しくする係」「勉強おしえましょう係」等、いろいろ思いつきます。工夫して活動できるといいです。係活動なので、一緒にやりたい家族がいたら、一緒にやっています。その時は相談しながらやってください。</p>
<p>2回目～</p>	<p><b>【めあて】 「係活動」でお家の人を楽しませよう。</b></p> <p>1回目に決めた係活動を、やってみましょう。係活動なので、いつ、どこで、どんなふうにするのか自分(たち)で決めます。お家の人を楽しんでいる気持ちにさせることを心にとめて取り組みます。お家の人喜んでくれると、やりがいを感じることができます。「もっとこうしたらいい。」というアドバイスがあったら、聞いてみましょう。さらにバージョンアップするには、振り返りも大切です。</p>